

「奥能登国際芸術祭 2020+」開催

に活用しました

2回目の開催となった「奥能登国際芸術祭2020+」。新型コロナウイルスの影響により、1年延期となりましたが、2021年9月4日から11月5日までの63日間を会期に開催することができ、約49,000人も多くのの方々にご来場いただきました。

コロナ禍での芸術祭開催ということで、作品制作段階から感染防止のための制約を課し、会期中は、スタッフはもとより、ご来場いただいた皆様方にも対策を徹底させていただきました。



(仮称) 珠洲市立 新保育所整備事業

に活用しました

珠洲市では、近年、保育士や調理師の確保が難しい状況となっており、数年後には適正な職員数での保育所運営が一層厳しくなることが予想される状況であるとともに、現在使用している保育所につきましても老朽化が著しく、大規模な改修が必要な状況となっております。このようなことから、本市では、現在使用している上戸、飯田、若山、



おかげをもちまして、一人の感染者も出さずことなく閉幕することができました。皆様のご協力のおかげと感謝いたしております。

今回の芸術祭では、16の国と地域から53組のアーティストが参加し、市内46会場で作品を展開しました。

なかでも、メイン作品となった劇場型の歴史民俗博物館「スズ・シアター・ミュージアム『光の方舟』」は、珠洲市の歴史・文化と光と音楽が融合した他に類のない施設となり、多くの来場者にアートの素晴らしさを体感いただきました。

くことができました。ミュージアムには、「珠洲の大蔵ざらえ」プロジェクトと銘打ち、市民から寄贈いただいた家々に眠る代々受け継がれてきた農林漁業の道具や生活用品等を展示しております。このプロジェクトで寄贈いただいた約1,600点もの民具は、家族の思い出やエピソードと収集し、1軒ごとに整理・分類し保管させていただいております。



「スズ・シアター・ミュージアム」は、奥能登国際芸術祭の拠点施設として今後も公開をしていく予定です。

また、ミュージアムの他にも14作品を常設作品として残しており、アート作品を活用した交流人口の拡大に向けた取り組みを展開してまいりたいと考えております。

イベントの情報は、公式WEBサイト <https://oku-moto.jp/> で発信していきます。

バス路線再編

に活用しました

現在、珠洲市のバスを主とする地域公共交通は、利用者数の減少に伴う市の財政負担額の増加や運行事業者が運転手の確保に苦慮するなど、非常に厳しい状況となっております。

そのため珠洲市では、持続可能な公共交通システムを目指し、公共交通の再編に取り組んできており、令和4年3月28日から、市営無料バスの運行、いわゆる公共交通の無償化を開始することとしました。

これまで、令和元年度の市内バス路線を対象とした

今後も珠洲市のサポーターの皆様『ふるさと』を思うお心にお応えすべく、努力してまいります。引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



珠洲市長

泉谷 満寿祐

正院、蛸島の5つの保育所を統合し、いずれの地域からもアクセスしやすく、利便性の高い、野々江地区に、新たな保育所を整備することといたしました。



新たな保育所は、木造平屋建てで、木の香りに包まれた親しみやすい保育所となります。また、保育室や遊戯室からグラウンドへ出入りすることができ、屋内と屋外が一体となった利用が可能となりますので、子ども達が明るく元気よくのびのびと活動できるほか、保育室に可動式の間仕切りを設置し、児童数の変化にも柔軟に対応できる施設となります。

今後は、令和5年4月の開所を目指し新保育所の整備を進め、より子育てしやすい環境を整えることで、本市の少子化対策につなげてまいりたいと考えております。



放課後子ども教室 推進事業

に活用しました

珠洲市では、「地域」「家庭」「学校」が連携して、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後子ども教室を開設しております。

平成29年9月に蛸島小学校をモデル校としてスタートし、令和2年4月には既存の児童クラブを全て放課後子ども教室へ移行しました。さらに、令和3年4月に大谷小中学校においても新たに開設し、現在、市内8箇所地域の方々の協力を得ながら、スポーツ、文化など多彩な体験交流活動が行われ、放課後に子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所を提供しております。

また、夏休みなど学校の長期休業においては、午前中に子どもたちの遊びの場として開設しておりますが、日中、家庭に保護者がいない市内児童を対象にして、本市独自の長期休暇期間一

日児童クラブを飯田小学校で開設し、児童を一日預かるサービスマも実施しております。

今後も、放課後子ども教室を中心に、子どもたちの健全育成と保護者が安心して働ける子育て支援の充実に向けてまいりたいと考えております。



寄附金活用のご報告

珠洲市へご寄附いただいたふるさと納税は、多くの事業に活用しています

平成20年度からスタートした『ふるさと納税制度』。皆様からお寄せいただきましたご寄附は、令和3年度は4,633件、1億2,260万円、平成20年度からの分を合わせますと2万7,563件、5億6,215万4,939円に上り、多くの事業に活用させていただきました。今回は、令和3年度にご寄附を活用させていただきました事業の一部をご報告いたします。

珠洲市では、これからも『美しい里山里海の自然環境の保全』と『子どもからお年寄りまでが元気で暮らせる住みよいまちづくり』の実現を目指してまいります。